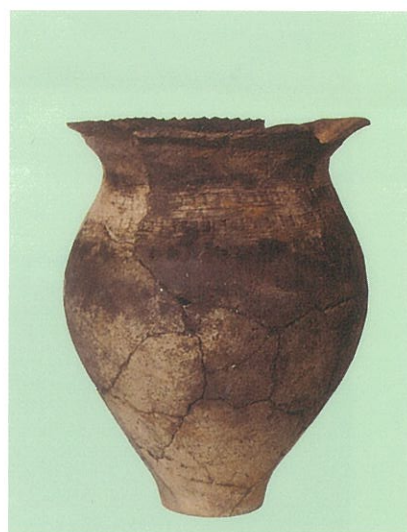


県内の遺跡7 しも や ち 下谷地遺跡

国指定 昭和54年6月4日

所在地 柏崎市大字吉井

柏崎市の北部、国道8号線と北陸自動車道が交差する付近に広がるこの遺跡は、住居跡や掘立柱建物跡、さらに方形周溝墓が発見された弥生時代中期(約2,100~1,900年前)の集落跡です。遺跡からは弥生土器のほか、装身具である管玉・勾玉やその未製品が出土し、玉作りをしていたことがわかりました。また、炭化米や木製の鋤なども出土し、農耕文化を基盤とした弥生時代の生活を知るうえでの貴重な資料となっています。



出土した弥生土器 (左: 壺・口頸部 中: 壺 右: 甕)



土器出土状況



はしご出土状況

あしがき

今年度の調査は、多くの現場で雪の降るなかも続けられましたが、12月16日の大武遺跡の撤収をもって終了しました。

今年も数々の貴重な発見が得られましたが、2月にはそれらの成果を発表する速報展も開催されます。どうぞ期待ください。(T)

埋文にいがた No.9

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒951 新潟市一番堀通町5923番地46
TEL (025) 223-5642
FAX (025) 228-1762
印刷 有限会社 双葉印刷